

2025年度事業計画

自 2025年4月1日
至 2026年3月31日

2025年度も会員第一を念頭に、施設協会の基本的な役割である、鉄道施設の技術を「横」と「縦」に繋ぐ取組み、協会の持つ公的性格を有効活用した取組みを行い、会員の皆様に貢献できる活動を行っていきます。また、会員減少や経費増など厳しい経営環境は続いておりますが、引き続き安定した協会運営を維持し、鉄道施設分野発展のため取組んでまいります。

1. 鉄道施設技術を「横」と「縦」に繋ぐ取組み

- (1) 施設協会誌は、引き続きオンラインを活用した編集体制変革への取組みを継続し、幅広い範囲からの情報を取り入れ、多くの会員に読んで頂く編集を進めます。また、業務資料として「軌道管理」のほか、2025年1月から開始した「線路下横断構造物」の連載を継続し、連載終了時には冊子としてまとめます。
- (2) 多くの学生に鉄道施設分野への関心を持ち認識を深めてもらうため、新たに学生会員制度を創設しました。大学の先生等を通じた勧誘など取組みを進め、将来の鉄道施設を担う技術者の確保と育成に貢献してまいります。
- (3) 多くの会員に入会のメリットを実感して頂き、また会員の技術向上と相互の交流につながる現場見学会を継続的に開催いたします。
- (4) 協会ホームページについては、保安講習会の案内や講演会等の諸行事に関するお知らせをよりわかりやすく、見やすくする取組みを継続するほか、タイムリーな情報発信の拠点となるように取組んでいきます。
- (5) 鉄道施設技術発表会、用地・協議業務研究会および総合技術講演会は、全国的な技術研鑽の場でありまた多くの会員の交流、意見交換の場として貴重な機会であり引き続き実施します。特に今年度は第一回開催（1925年）から100周年となる記念大会となるため、その意義など認識を深める場としていきます。また、当日聴講できない会員のために映像の配信を今年度も行います。
- (6) 協会創立70周年事業で整備した「施設協会ライブラリー」は引き続き会員へのサービス向上のため電子化など充実を進めていきます。また貴重な図書についてはその保存とともに、他社等に保管されている図書についても検索を可能とする検討を行います。
- (7) 会員間の連携を図るため、更なる支部活動の活性化を図っていきます。

2. 公的性格を有効活用した取組み

- (1) 保安事業では、公正性を確保しつつ効率的で質の高い講習を実施するため、オンライン講習、動画配信、動画上映講習などを拡大していきます。また講習内容の質の向上と受講生の利便性を図るため、オンラインを活用したオンデマンド講習・試験の実施に向けて取組みを進めます。
- (2) 現在受託しているJR、一部民鉄以外の会社からの新たな資格講習会の受託に取組むとともに、その拡大を有効に活かして鉄道の安全と安定輸送に貢献していきます。
- (3) 外国人技能実習制度に係る試験実施機関として、初級試験、専門級試験を継続的に実施するほか、特定技能制度における技能評価試験機関として、制度定着に向け取組みを進めていきます。
- (4) 国土交通省からの軌道の維持管理講習会等の受託を継続し、オンラインでの開催や現場での実習を組み合わせ、より効果的な講習を実施いたします。
- (5) 地方鉄道の技術的な課題に対し、施設協会のネットワークを活かした支援を行うため、ホームページに相談窓口を新たに設置し、その相談に対応していきます。
- (6) 鉄道設計技士試験受験対策講習会は、多くの方が受講できるよう対面方式のほか、オンライン方式による講習を併用して行います。
- (7) 鉄道技術検定試験は、幹事会社のJR東日本、JR北海道、東京地下鉄と統一した協定を結び、更なる試験内容の充実に引き続き取組みます。
- (8) 叙勲については、協会の重要な役割の一つと位置付けて取組んでおり、今後も鉄道施設で長く活躍されている方への感謝と現役世代へのモチベーション向上のために、支部等との連携強化を一層進め、より多くの候補者の確保を目指してまいります。

以上のような取組みにより、今年度も業務効率化などを進め安定した経営を維持し、施設分野の発展とともに会員の皆様により満足して頂けるよう努めてまいります。会員の皆様にはご支援とご協力をお願い申し上げます。